

# つながるちから

第48回

地域に貢献していきたい

社会福祉科介護福祉専攻

2年 堀内 真希

2年前、社会人を経て介護福祉専攻の学生として学び始めました。入学式は中止となり、その2週間後には、緊急事態宣言によって遠隔講義を余儀なくされました。介護技術の基本であるベッドメイキングは、担当教員の動画配信を見ながら、配布されたシーツを片手に一人自宅で練習したことを覚えています。その後も遠隔講義と対面講義の両立、介護実習が実施できるかなど、学ぶ不安は尽きませんでした。先生たち、実習先の介護職員の皆さん、自分たちの力を必要としてくださる高齢者や障がい者の皆さん、応援してください。地域のみなさん、支えによって学べたことに感謝しています。2年間の学生生活では授業のグ

ループワークで年齢が異なる若い学生からの柔軟な発想や着眼点に驚かされることが多くあり、周囲からの考えを受け入れることで自分にはない考え方や視点を養えたと思います。「幅広く物事を見る」という、介護の仕事に就く上で必要な視点を養えたことは、短大で学んで良かったことだと感じています。私は、この春から地域の障がい者福祉施設の支援員として働く予定です。介護福祉を通じて地域のさまざまな人たちとつながり、地域福祉へ貢献できるように今後も努力していきたいと考えています。



▲介護実習に取り組む堀内さん